

# 若狭地域のWell-beingを実現するために 地域水産業の成長産業化に貢献できる人材育成のための水産海洋教育カリキュラム開発

## 若狭地域水産業の 将来構想

最新技術の活用や水産物のプレミアムブランドの創出により水産関連産業の生産力が向上し、若狭地域の魅力が高まる。  
持続的な天然資源の活用のために水産増養殖技術が向上し、つくり育てる漁業が盛んになっている。

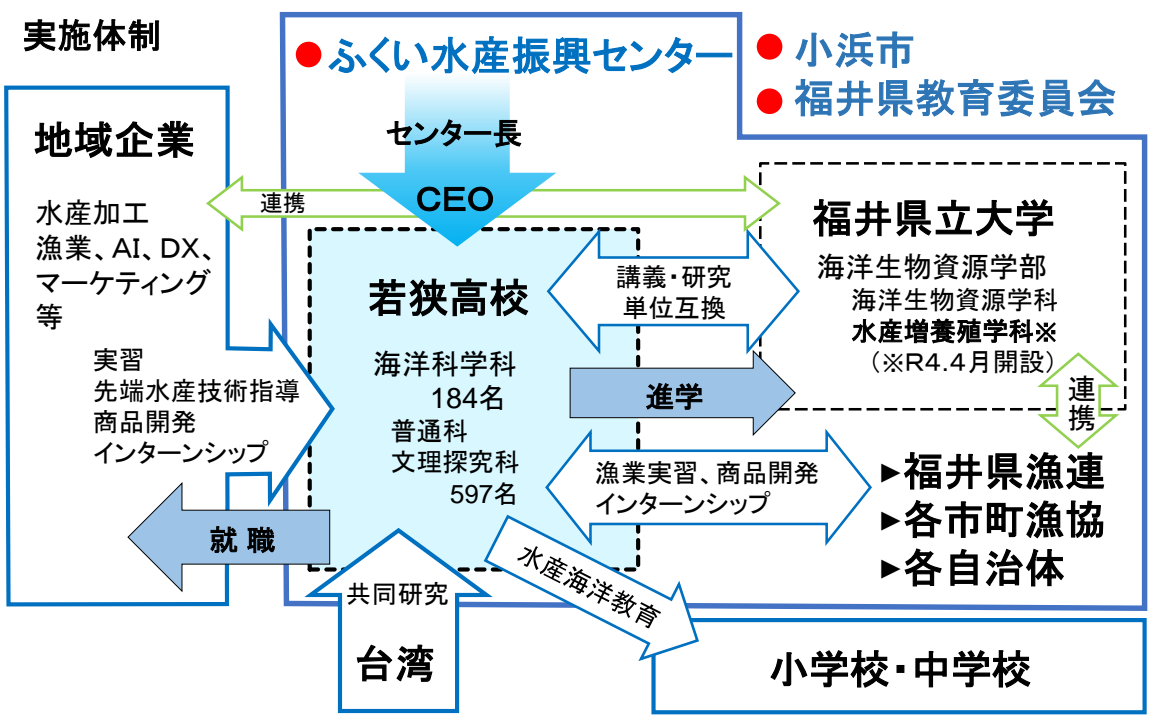
## 目的

水産業界や大学と同期化し、革新し続ける社会に対応しながら地域水産業の持続的な成長を牽引する人材育成とカリキュラム開発

## 育成する力

地域水産業を成長産業化するための  
**最新技術を活用するスキル**  
**新しい価値を創出するセンス**

## 実施体制



水産物ブランド創出

地域漁業の発展

国際的共同研究

連携大学進学  
地域企業就職

スキルとセンスを習得し、Society5.0に対応できる資質と能力を身に付け、地域水産業を成長産業化させる人材を輩出する

水産海洋教育カリキュラム開発

- マイスターハイスクールCEO
- ◇ MHCEOによる産学の資産を活用したカリキュラム編成  
地域企業の技術者による先端技術授業  
地域企業、大学の設備を活用した実習  
実習船を活用し、大学、企業と共同研究
  - ◇ 学校設定科目「海洋生物資源学」設置  
高大接続に向けた課題研究の強化  
単位互換の検討
  - ◇ 大学・企業等と連携した共同研究、商品開発・販売  
持続可能な水産業の研究(宇宙食、マイクロプラスチック、養殖等)  
DXに対応した漁業の研究(AI、ICTの活用等)  
地域課題を解決する商品開発(食べられるムラサキウニ等)  
新たな価値を創造する商品開発(チョウザメの研究等)
  - ◇ 海外での研究発表会を実施  
台湾との共同研究および学会参加
  - ◇ 海洋キャンパス、実習船の活用  
小中学校への海洋教育の推進

## スキル

**確かな学力**

- ・探究へ向かう学力
- ・水産分野の知識・技能
- ・先端技術に関する知識・技能

## センス

**課題解決へのアプローチ力**

- ・課題設定能力、論理的思考力
- ・コミュニケーション能力
- ・計画力・実践力、発想力・創造力

# 若狭地域のWell-beingを実現するために 地域水産業の成長産業化に貢献できる人材育成のための水産海洋教育カリキュラム開発

## 若狭地域水産業の 将来構想

最新技術の活用や水産物のプレミアムブランドの創出により水産関連産業の生産力が向上し、若狭地域の魅力が高まる。  
持続的な天然資源の活用のために水産増養殖技術が向上し、つくり育てる漁業が盛んになっている。

## 目的

水産業界や大学と同期化し、革新し続ける社会に対応しながら地域水産業の持続的な成長を牽引する人材育成とカリキュラム開発

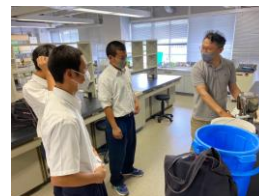
### ①カリキュラム開発

MHCEOや産業実務家教員による授業  
Well-beingに関する研修会を実施  
街歩きを行い、地域の「あるもの探し」  
対話手法p4cを用いたカリキュラム検討



### ②福井県立大学との連携

福井県立大学の授業をオンデマンド形式で視聴  
福井県立大学主催・後援行事に参加  
施設を相互利用した飼育実習  
高大連携会議を開催



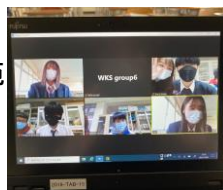
### ③大学・企業などと連携した商品開発

海洋プラスチックを利用した塗り箸販売開始  
生分解性プラスチックを利用した釣具開発  
三方五湖のフナのおつまみ開発  
サワラを利用した商品開発  
タイラバ開発  
鹿肉を用いた養殖餌の開発  
未利用魚を用いた寿司の缶詰開発



### ④海外連携

台湾とOcean Well-being発表会を実施  
教員同士の実施内容の振り返り実施  
教員の授業互見の実施



### ⑤他校種への海洋教育の推進

小浜市立小学校、特別支援学校への高校生による出前授業の実施  
雲龍丸の体験航海を実施  
中学校教員への説明会の実施  
地域の方向け体験航海の実施



## 育成する力

最新技術を活用する**スキル**  
新しい価値を創出する**センス**

## 課題

- I. 福井県立大学との連携における新科目の内容を再検討  
高校、大学における二重単位履修制度整備ではなく、既存の教育制度を生かしつつ、実験等の内容を再検討する。
- II. 海外連携におけるスケジュール・プログラムの再検討  
台湾との探究発表会に向けて生徒が準備する時間を十分に設けるとともに、生徒の学びが深まるプログラムを構成する必要がある。
- III. 体験航海の内容の再検討  
海洋教育推進のために、小中学生および地域の方に、雲龍丸等を用いて科学的な出前授業を行う必要がある。